

親しみのある砂防堰堤を目指して

秋山 大樹

関東地方整備局 利根川水系砂防事務所 品質確保課 (〒377-8566 群馬県渋川市渋川121-1)

利根川水系砂防事務所では、砂防堰堤を地域住民や観光客の皆様により親しんでいただくために、砂防堰堤から流れ落ちる流水の様子に「〇〇の滝」というような愛称名をつけた。

本稿では、愛称名の決定にあたり、募集方法や選定方法等の検討において工夫した点や成果について報告する。

キーワード 砂防堰堤、広報、ヒアリング、選定方法

1. はじめに

利根川水系砂防事務所では、群馬県における利根川の上流支川である吾妻川・片品川・神流川・烏川について直轄砂防事業を行っている。

吾妻川流域は浅間山や草津白根山などの火山が連なり、火山噴出物が広範囲に堆積し、流域内には温泉等の観光地も多くある。この地域では通常砂防の他に浅間山や草津白根山の火山砂防にも取り組んでいる。

片品川流域は、東に日光白根山などの火山が連なり、南には赤城山の火山性地質が広がっており、急峻な地形と脆弱な地質に覆われ、山地の崩壊も進んでいる。流域内には、尾瀬国立公園や尾瀬ヶ原、日光白根山などの観光地も多くある。

烏川流域の地質は火山群及び榛名火山の噴出物が、基盤をなす第三紀層を覆って厚く分布している。河川沿いには、鉄道や人家も多く、上流には榛名山等の観光地も多くある。

神流川流域は、秩父古生層という硬い岩石でできているが、多くの断層や破碎帯があり、複雑な地層構造となっている。このため急峻な地形と脆弱な地質から大量の土砂が生産されやすい地域である。また、神流町は日本で最初に恐竜の足跡が発見されたことで、「恐竜の町」として有名である。

このように各流域毎に様々な観光地があり、毎年多くの方々が観光に足を運んでいる。

2. 広報活動の目的と概要

砂防堰堤は山奥や山裾等に位置し、土砂災害を未然に防いでいる。近年、砂防堰堤は、歴史的な観点や建造物の機能、美しさなどから観光資源としても活用されてきている。

利根川水系砂防事務所では、地域住民や観光客の皆様により親しんでいただくため、砂防堰堤から流れ落ちる流水の様子に「〇〇の滝」というような愛称をつけたく、各流域から歴史や景観等に優れる砂防堰堤をそれぞれ1つ、合計4つの砂防堰堤について2019年2月8日から2019年8月31日までの期間、ホームページ、新聞、テレビ等を活用することにより、広く募集を行った。

- ・吾妻川流域：万座川第二砂防堰堤
- ・片品川流域：片品上流砂防堰堤
- ・神流川流域：橋倉川第二砂防堰堤
- ・烏川流域：榛名川上流砂防堰堤



図-1 愛称名の応募を行った各施設の位置図



図-2 愛称名の応募を行った各施設の写真

3. 募集結果

募集を行った結果、合計266件の応募をいただいた。各施設の集計結果については、下記のとおりである。

- ・吾妻川流域 万座川第二砂防堰堤：52件
- ・片品川流域 片品上流砂防堰堤：52件
- ・神流川流域 橋倉川第二砂防堰堤：95件
- ・烏川流域 榛名川上流砂防堰堤：67件

応募者の中には、施設付近に住んでいるお年寄りや学生など幅広い年代から応募があった。また、県外に住む方からの応募も多数あり、観光客の皆様からも多くの応募をいただいた。応募者の数名に電話でヒアリングを行ったところ、実際に現地へ砂防堰堤を見に行き「周辺の景観とマッチしていてとてもきれいだった。」「大きくて迫力があつた。」など多くの意見を伺うことができた。

4. 選定方法

応募の際、愛称名をつけた理由や思いも記載してもらい、応募いただいた266件の中から、各施設の特徴や愛称名の理由を踏まえ、以下の基準を基に選定を行った。

- ・施設が整備されている地域の特徴や施設の特徴が想像できるような愛称
- ・親しみやすく印象に残り、覚えやすい愛称

また、選定にあたっては、各地域から役場や観光協会等の行政機関、地元の小学校、神社等合計16の機関に選定委員として愛称名の選定に協力を依頼した。

選定方法は、それぞれ良いと感じた愛称名と理由を3つ選び、協議の結果、以下の愛称名に決定した。

- ・万座川第二砂防堰堤：「万座の滝」
- ・片品上流砂防堰堤：「尾瀬さくらの滝」
- ・橋倉川第二砂防堰堤：「山中（サンチュウ）の滝」
- ・榛名川上流砂防堰堤：「つづらの滝」

5. まとめ

今回選定を行った4つの砂防堰堤が土砂災害防止に寄与している事を知って頂くと共に、積極的に観光資源として活用して頂くために、チラシやポスターの作成・配布を行っている。また、4つの砂防堰堤について砂防カードを今回作成し、裏面には砂防堰堤の諸元の他に工夫点などの読む人の関心を引くような内容を記載し、今後配布を行っていく。チラシや砂防カードの配布にあたっては、選定に協力していただいた関係機関に引き続き協力を依頼して、各地域でそれぞれ配布を行う予定である。



図-3 愛称名の決定に関する広報チラシ



図-4 愛称名の選定を行った砂防堰堤の砂防カード

6. おわりに

今回実施した愛称名の募集をきっかけに地域の観光資源として砂防堰堤がより活用され、地域防災を考えるきっかけになれば幸いです。

最後に、今回応募頂いた多くの方々、選定にご協力頂いた皆様に対し、この場を借りてお礼を申し上げます。